

【記 載 例】

(様式1)

所在地 〇〇市〇〇町1-1-1
商店街、小売市場等名 △△商店街振興組合
グループ名 △△商店街青年部
代表者名 代表 □□ □□
担当者・電話番号 ◎◎ 000-111-2222

商店街次代の担い手支援事業計画書

1 商店街、小売市場等の現状

当商店街は、市内を中心にお年寄りから若い世代まで幅広い買い物客でにぎわっていたが、ここ近年は大型店舗・コンビニとの競争激化、ネット通販による流通経路の多様化等の影響で客足が逡減しつつあり、抜本的な商店街活動のあり方の見直しが必要である。

2 事業計画

(1) 目的

高齢化した商店街役員ではなく、若手や女性の事業者による新しい視点での商店街活動に取り組みとともに、商店街活動を行う人材の世代交代を進める。

(2) 基本方針（目指す方向）

目指す方向：「地域に愛される商店街づくり」

当商店街の近隣には高齢者世帯が多く、小中学校の通学路にもなっていることから、地域に愛される商店街をめざす。また、店主の代替わりや店舗の入替などにより希薄になりつつある商店街構成員間のつながりを深め、商店街活動に取り組みの土壌を培う。

(3) 実施体制 ※該当するグループの欄に「○」を付け、具体的な実施体制を枠下へ記入すること。

若手事業者グループ（複数を含む。）	若手事業者及びベテラン事業者によるグループ
○	

生鮮食品を取扱う30代の若手事業者3名をコアメンバーに、これまで商店街活動にあまり携わっていなかった若手・女性構成員に声をかけ、最終的には10名程度のグループで役割を分担して取り組む。

(4) プロセス

ア 実践活動の企画

5月 第1回勉強会（専門家を招いての活動テーマの設定）

6月 第2回勉強会（実践活動内容の企画）

イ 実践活動の実施

7月～10月（実践活動）

（想定される内容）

高齢者向け健康体操教室の実施、登下校時の児童見守り活動、商店街内一斉清掃など

ウ 活動結果の検証

12月 反省会（振り返り、全県交流会での成果発表準備）

全県交流会への参加

(5) 期待される効果

実践活動をきっかけとして、高齢買い物客の増加、子どもが親しみやすい安全な商店街、近隣店舗の風通しのよい明るい商店街といった地域に愛される商店街としてのイメージアップ効果が期待される。

3 事業費

(単位：円)

内容	金額	備考
第1回勉強会（5月）	100,000	専門家謝金・旅費 会場等使用料
第2回勉強会（6月）	100,000	専門家謝金・旅費 会場等使用料
商店街内一斉清掃（7月）	55,000	消耗品費 (清掃用具等)
高齢者向け健康体操教室 (8～9月)	220,000	空き店舗賃借料 PRチラシ、割引券印刷代
登下校時の児童見守り活動 (10月)	55,000	消耗品費 (安全旗、腕章代等)
反省会（12月）	100,000	専門家謝金・旅費 会場等使用料
総事業費	630,000	
うち補助事業の対象となる経費 (消費税及び地方消費税を除く。)	600,000	

※事業内容は、できるだけ具体的に記載のこと。

必要に応じ事業内容及び見積書を記載した別紙を添付のこと。